

地域密着型サービス 運営推進会議 記録

事業所名	デイサービス とらい・あす
所在地	佐倉市西志津 5-16-11
サービス種類	通所介護
開催日時	平成 31 年 1 月 28 日（月）13:00～14:20
開催場所	とらい・あす 2F
出席者	利用者の家族 1 名 地域住民の代表 1 名（西志津地区社会福祉協議会、民生委員） 市役所高齢者福祉課の職員 1 名 計 6 名 知見を有する者 1 名（介護支援専門員） 事業所の職員 2 名（管理者、生活相談員）
議題	1. 運営状況について 2. ヒヤリハット・事故報告
報告事項	1. 事業所の運営状況について 1) 利用者数及び利用者の状況（平均要介護度、男女比等） 平均利用者数：7 名／日、平均要介護度：3.6 病状の変化等により入院となったケース、死亡のケースもあり利用者数が減少した。要介護 5 の方が多く、利用回数も週 3 回以上が多いため、稼働への影響が大きくなっている。 2) 職員の状況：8 月から週 5 日勤務者が入職したため、情報共有がしやすくなり、サービス提供体制の安定・強化が図れた。 3) 日々の活動内容、行事および今後の予定 事業所でのクリスマス会にご家族にも参加して頂き、ゲームの実施や利用中の様子をビデオや写真で紹介した。嚥下障害の方の食具や摂食状況、介助方法の情報提供を行った。 2. 事故報告 浴室でのシャワーキャリーからの滑り落ち：1 件 ＜状況および対応＞要介護 5 の利用者の洗身時に石鹸の泡が残った状態で、臀部を洗うために下肢を持ち上げたことでシャワーキャリーから滑り落ちてしまった。その場で看護師・管理者が状況を確認し、外傷等の異常はなく、ご家族へ報告・謝罪を行なった。 その後 1 週間経過観察を行うが、特に問題なく経過した。 ＜改善内容＞シャワーキャリーの使用や浴槽の出入りの方法、洗身時の介助方法について再確認を行ない、必要に応じて 2 人介助を実施することとした。移乗や入浴後の更衣時には深く腰掛けることにより座位バランスが崩れないようにすることを徹底し、介助技術の確認・指導を行った。

評価 感想 等	利用者のご家族からは、認知症の方への対応の困難さ、介護しているうえでの苦労等についてお話があった。クリスマス会のようにご家族が参加できる行事があると様子が分かってよかったと感想をいただいた。
要望 意見 助言 等	介護度の高い方や嚥下障害等に対応できるサービス事業所が少ないため、利用回数が増える傾向にあり、運営状況に直結し、コントロールが難しい。特色を出すという点ではよいが、事業所同士での情報交換も行なえる場等があるとよいのではないかという意見があった。
その他	次回の運営推進会議予定：平成 31 年 6 月下旬頃